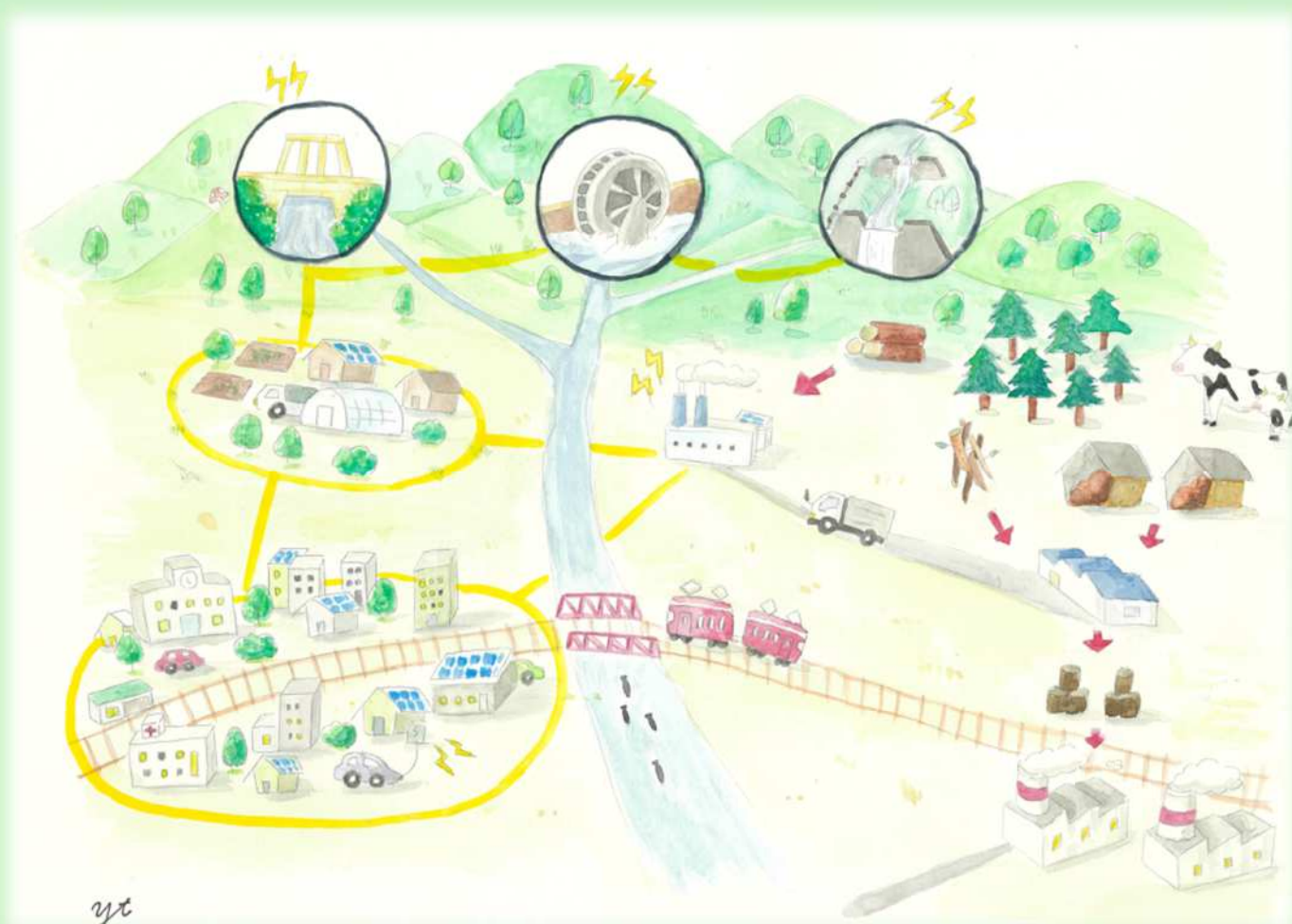


～「脱炭素社会ぎふ」の実現に向けて～

岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画
(令和3年度～令和12年度)



策定：令和3年3月

改訂：令和5年3月

改訂：令和8年3月

岐阜県

計画の目的など



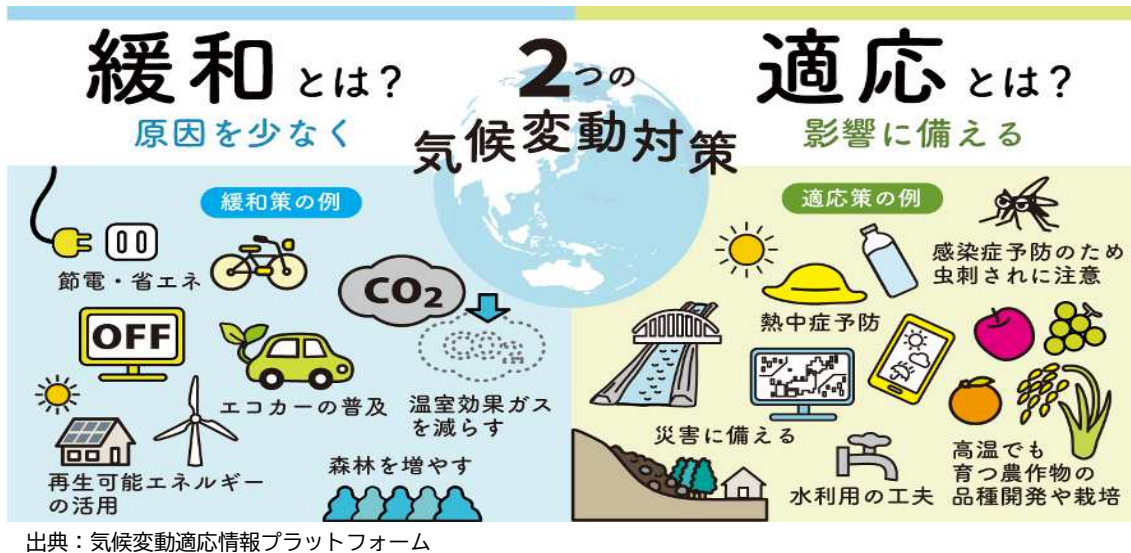
どんな計画なの？

この計画は、二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化や、エネルギーの課題を踏まえ、岐阜県が将来目指す姿と、それに向けた対策(緩和策と適応策)の方向性をまとめたものです。

- ・「緩和策」…省エネルギー対策や再生可能エネルギー創出・活用の促進、森林による二酸化炭素の吸収などの温室効果ガスの吸収源対策
- ・「適応策」…気候変動による被害を少なくするための対策



【緩和とは・適応とは】



なぜ、気候変動などへの対策が必要なの？

人間の活動が、主に温室効果ガスの排出を通して地球温暖化を引き起こし、気候に大きな変動をもたらしているとされています。

近年、世界各地で発生している記録的な猛暑や干ばつ、熱波、集中豪雨、台風といった異常気象の背景には、地球温暖化による影響が指摘されており、今後、地球温暖化の進行に伴い一層、深刻化すると予測されています。

また、地球温暖化の観点だけでなく、自然災害の激甚化や国際情勢の不安定化等でエネルギーの安定供給が懸念されることから、緩和策である省エネルギー対策や再生可能エネルギーの創出・活用等に取り組む必要があります。



【地球温暖化とは】

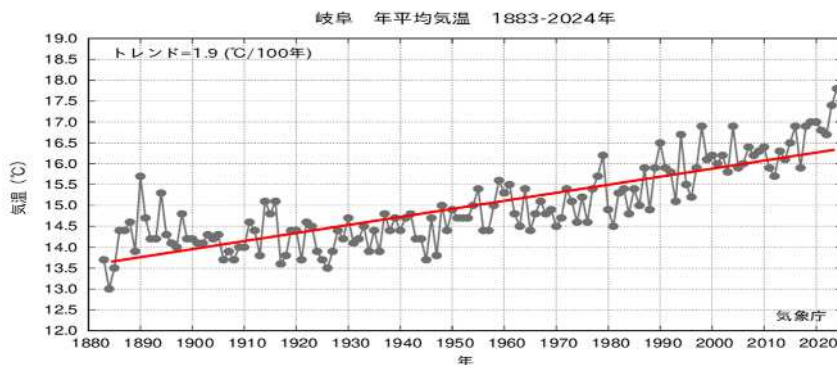
- ・地球温暖化とは地球表面の大気や海洋の平均温度が長期的に上昇する現象です。
- ・人為起源による温室効果ガス排出量の増加が20世紀半ば以降に観測された地球温暖化の要因であった可能性が極めて高いとされています。
- ・温室効果とは、太陽エネルギーにより暖められた地表面から宇宙に向けて放射される赤外線の一部が、二酸化炭素やメタンに代表される温室効果ガスにより吸収されることで、大気が暖められる現象です。



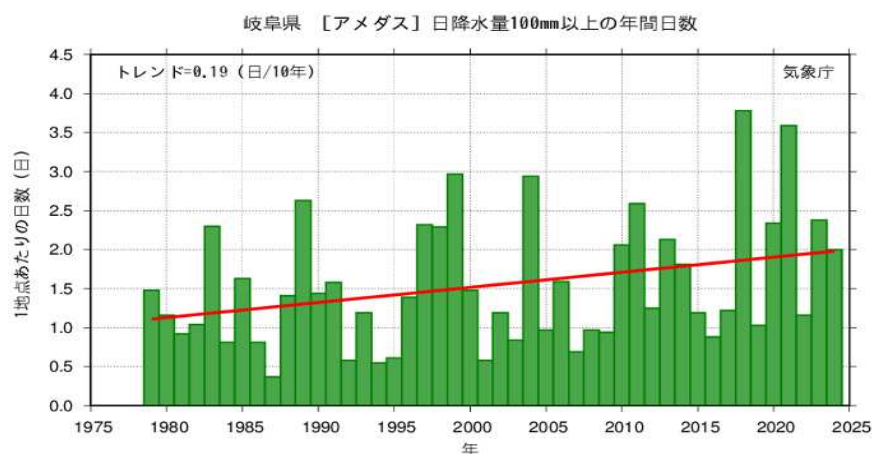
出典：温室効果ガスインベントリオフィス
 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

【温暖化・気候変動の状況】

- ・日本の平均気温は100年あたり1.4℃の割合で上昇しており、岐阜市の年平均気温を見ても100年あたりの推計値で1.9℃上昇しています。
- ・岐阜県内の日降水量100ミリ以上の極端な大雨の年間発生回数は、増加傾向にあります。



出典：東京管区気象台
 東海地方のこれまでの気候の変化
 (観測結果)



出典：東京管区気象台
 東海地方のこれまでの気候の変化
 (観測結果)

【エネルギーの海外依存】

- ・日本の国民生活や経済活動に必要な一次エネルギー(※1)のうち、自国内で産出・確保できる比率は、16.4%(2024年度)となっています。

出典：経済産業省資源エネルギー庁 日本のエネルギー (2025)

岐阜県の目指す将来の姿など



岐阜県では、将来どんな姿を目指していくの？

対策(緩和策と適応策)を進めることで、2050年までに、「脱炭素社会ぎふ」の実現を目指します。

「脱炭素社会ぎふ」とは…

- ・温室効果ガスの排出量と吸収量との間の均衡を達成し、さらに、本県の豊かな森林資源を生かして我が国全体の脱炭素化に貢献
- ・県内で創出した再生可能エネルギーで県内のエネルギー消費が実質100%まかなえる持続可能で強靱な社会を実現
- ・既に起こりつつある生活、社会、経済、自然環境等への影響を踏まえた適応策を進めることで、気候変動に適応した持続可能な社会を実現



【対策と目指す効果のイメージ】

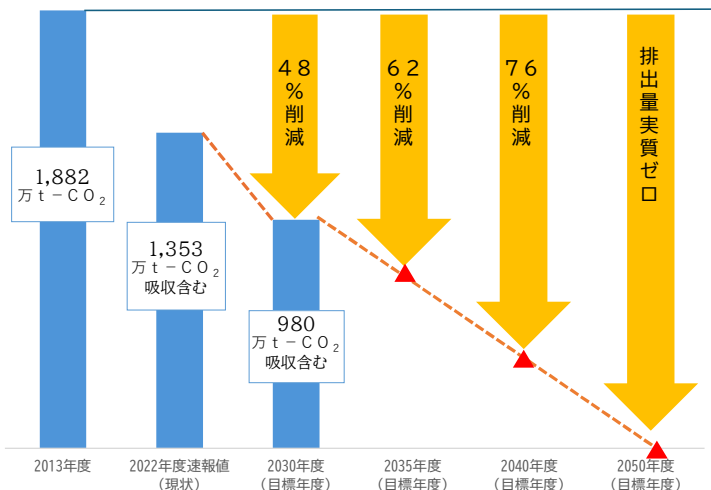


- ・温室効果ガスの排出量の削減
- ・エネルギー供給の強靱化等

- ・温室効果ガスの吸収

- ・気候変動に適応して被害を減少

【目標：2050年度までの温室効果ガスの排出量】 【目標：最終エネルギー消費量に対する再生可能エネルギー創出量の割合】



区分	現状値 (2022年度)	中期目標 (2030年度)	2050年度目標
再エネ創出量 / 最終エネルギー消費量	24.4%	36.0%	100%

さらに、本県の森林資源等を生かし、国全体の脱炭素化への貢献を目指す

取組の方向性①（緩和策）



目指す姿に向けて、岐阜県ではどんな方向で取り組むの？

温室効果ガスの排出抑制等の対策（緩和策）として、現状や課題を踏まえ、次の方向性のもとで、取組を進めていきます。



【主な現状と課題の認識と対策の方向性】

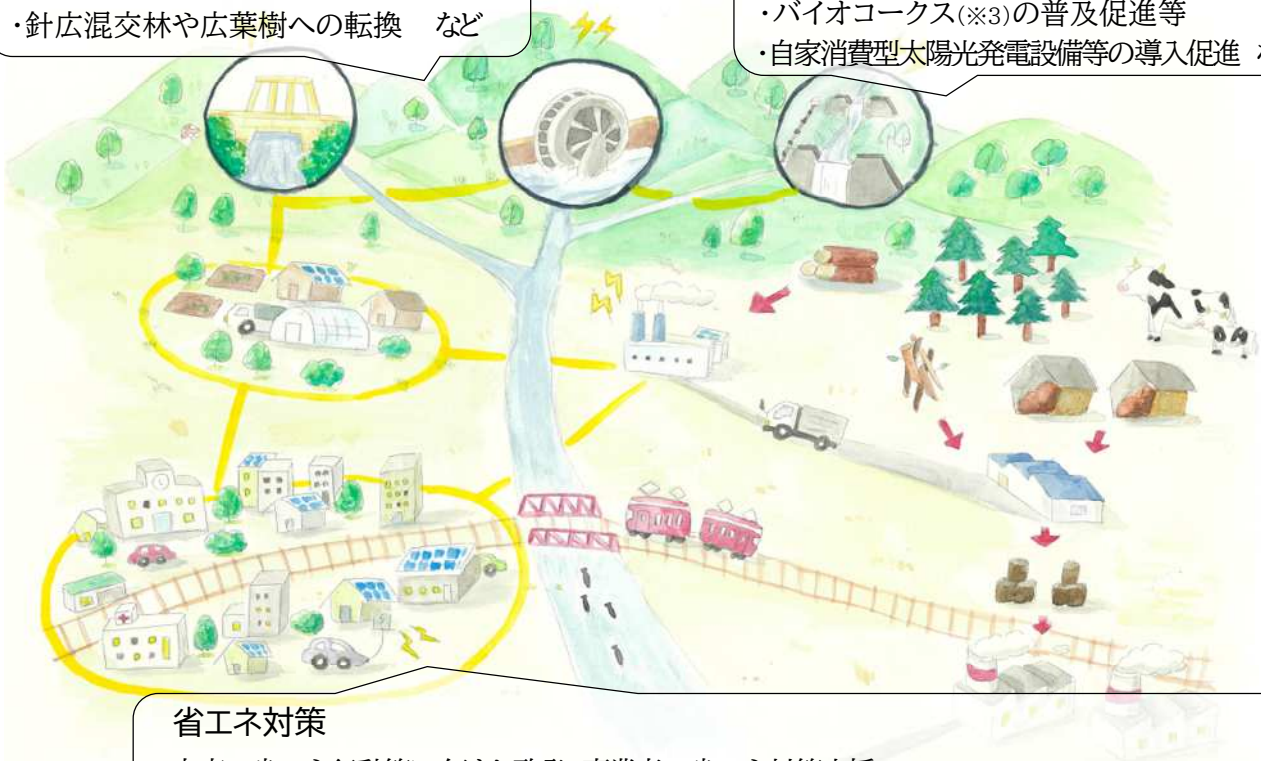
主な現状と課題の認識	対策の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー価格が高止まっている ・今後も電化の進展等に伴う電力需要の増加が見込まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の家庭や事業者の取組だけでなく、エネルギー利用の効率化につながる生活や社会システムへの変革も含め、更なる省エネルギー（以下、「省エネ」）対策が必要
<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の激甚化や国際情勢の不安定化によりエネルギーの安定供給への懸念が高まっている ・本県の豊かな自然環境は再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）創出に向けたポテンシャルを有している (包蔵水力(※2)全国 1 位、森林率全国 2 位) 	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化対策の観点に加え、エネルギー供給の強靱化、更には地域振興の観点からも、地域における再エネの創出拡大と活用を促進 ・森林吸収源対策として、本県の森林ポテンシャルを生かす健全で豊かな森林づくりなどの促進

森林吸収源対策

- ・計画的な森林整備
- ・針広混交林や広葉樹への転換 など

再エネ創出・活用に向けた対策

- ・小水力発電の導入促進
- ・バイオコークス(※3)の普及促進等
- ・自家消費型太陽光発電設備等の導入促進 など



省エネ対策

- ・家庭の省エネ行動等に向けた啓発、事業者の省エネ対策支援
- ・クーリング・ウォーミングシェア(※4)、鉄道利用の促進等のエネルギー利用の効率化の促進 など

取組の方向性②（適応策）



気候変動の影響による被害を防止、軽減する対策（適応策）として、現状や将来予測を踏まえ、次の方向性のもとで、取組を進めていきます。

【現状・将来予測と対策の方向性】

農林水産業	
現状・将来予測	考えられる適応策
<p>品質低下 収量低下</p> <p>コメ（白未熟粒） リンゴ（日焼け）</p> <p>その他にも様々な農産物に影響が現れています。</p>	<p>高温耐性品種への変更、作付け時期の調整</p> <p>品質低下防止のための日よけ設置</p>

【農業・林業・水産業】

- 生産安定技術や対応品種・品目転換を含めた対応技術の開発・普及、農業者等自らが気候変動に対するリスクマネジメントを行うなど農業生産へのリスク軽減を推進

【自然生態系】

- 高山帯における気象データ等の収集・把握を行うとともに、絶滅のおそれのある動植物の調査や普及啓発を実施
- 河川生態系への影響と対応策を検討するとともに、水域の連続性の確保を推進
- 有害鳥獣の捕獲を推進するとともに、狩猟者の確保、育成を推進

自然生態系	
現状・将来予測	考えられる適応策
<p>希少な動植物絶滅の可能性</p> <p>サンゴ（白化現象）</p>	<p>森林のモニタリング、野生動物の個体群管理</p>

自然災害・沿岸域	
現状・将来予測	考えられる適応策
<p>土砂災害</p> <p>浸水被害</p>	<p>ハザードマップ（洪水被害予測地図）の確認、避難経路の確認</p> <p>治水安全度向上のためのハード整備</p> <p>雨水貯留槽など</p>

【自然災害】

- 河川管理施設や防災施設、下水道施設等の適正な管理を行うとともに、流域全体で被害を軽減する「流域治水」を推進
- 砂防施設や森林の整備を推進
- 地域の生活インフラを保全する対策を推進するほか、土砂災害ハザードマップによるリスク情報の周知を図るなど、ハード・ソフト一体となった対策を推進

【健康（熱中症など）】

- 個人が取るべき対策についての普及啓発と合わせた注意喚起や関係団体等への周知等を推進

健康	
現状・将来予測	考えられる適応策
<p>熱中症</p> <p>ヒトスジシマカが媒介するデング熱</p>	<p>こまめな水分補給 エアコンの適切な使用</p> <p>× 水たまりを作らない工夫</p> <p>○ ヒトスジシマカへの注意</p>

国民生活・都市生活	
現状・将来予測	考えられる適応策
<p>インフラへの影響</p> <p>伝統行事などへの影響</p>	<p>地下鉄等の浸水対策</p> <p>地下鉄入口 止水板</p> <p>植物の開花や紅葉など生物季節の観測</p>

【県民生活・都市生活】

- 都市緑地など実行可能な対策を継続的に進めるとともに、ソフト対策などの短期的に効果が現れやすい対策を併せて実施

イラスト出典：気候変動適応情報プラットフォーム

できることから始めよう！



わたしたちができることは？

将来の姿を実現するには、各ご家庭、事業者の方々などに自主的、積極的に取組を進めていただくことが必要不可欠です。
できることから始めてみましょう。



【家庭の取組の例】

- ・ライフスタイルに合わせた省エネ対策の実施
- ・省エネ・低炭素型の製品への買換
- ・再エネ電力への切替

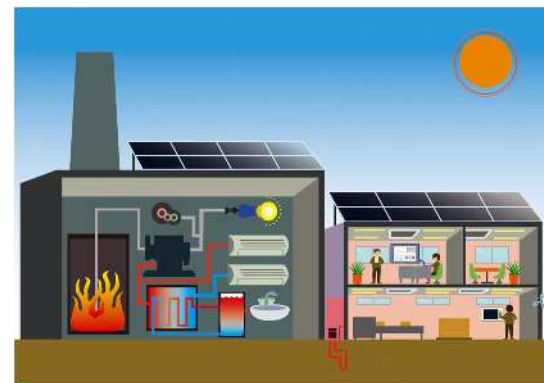


【オフィスなどの取組の例】

- ・省エネ建築物の新築・改修 ・再エネ電力への切替
- ・省エネ機器への更新
- ・BEMS(※5)の活用

【工場などの取組の例】

- ・省エネ設備等の導入
- ・省エネ診断の受診
- ・FEMS(※6)の導入の検討
- ・設備の運用方法の見直し
- ・再エネの導入
- ・再エネ電力への切替



【移動や運輸の取組の例】

- ・温室効果ガスの排出の少ない電動車への買換
- ・物流における鉄道利用
- ・公共交通機関及び自転車の利用

【部門横断的な取組の例】

- ・建築物の壁面緑化(緑のカーテン)や屋上緑化
- ・ごみの減量化の推進、リサイクルの実施
- ・クーリング・ウォーミングシェアスポットの普及





取り組むことで、気候変動対策以外のメリットはあるの？

省エネに取り組むことで、光熱費などがお得になることもあります。
 また、再エネの活用によって、将来にわたって自然からの恵みを受け続けられる可能性があることに加えて、災害時の非常用電源としても利用できる場合があります。



【家庭の場合（取組と省エネ効果の例）】

○照明器具を LED に取り替える

例)68W の蛍光灯器具から 34W の LED 照明器具に交換(年間 2,000 時間使用)

→年間で電気 68.00kWh の省エネ、原油換算 15.16L、CO₂ 削減量 29.2kg

約 2,108 円の節約

○冷暖房を必要な時だけつける

例)冷房を 1 日 1 時間短縮した場合(設定温度:28℃)

→年間で電気 18.78kWh の省エネ、原油換算 4.73L、CO₂ 削減量 9.2kg

約 580 円の節約

例)暖房を 1 日 1 時間短縮した場合(設定温度:20℃)

→年間で電気 40.73kWh の省エネ、原油換算 10.26L、CO₂ 削減量 19.9kg

約 1,260 円の節約

○テレビを見ないときは消す

例)1 日 1 時間テレビ(50V 型)を見る時間を減らした場合(液晶の場合)

→年間で電気 28.87kWh の省エネ、原油換算 6.44L、CO₂ 削減量 12.4kg

約 895 円の節約

○自動車の運転

例)ふんわりアクセル「e スタート」、5 秒間で 20km/h 程度に加速した場合

→年間でガソリン 83.57L の省エネ、原油換算 74.63L、CO₂ 削減量 194.0kg

約 11,950 円の節約

例)加減速の少ない運転

→年間でガソリン 29.29L の省エネ、原油換算 26.16L、CO₂ 削減量 68.0kg

約 4,190 円の節約

「省エネポータルサイト」(経済産業省)より作成

【事業者が省エネ対策を行った場合の効果（例）】

○省エネによる光熱費の削減は、売上げアップと同じ効果

例)売上げ1億円、営業利益が2%、光熱水費が売上げの3%(300万円)の企業が光熱費を10%削減

→1,500万円の売上げと同じ効果

光熱費30万円の削減

(300万円(光熱費)×10%削減)

= 30万円の利益を上げるには売上高1,500万円が必要

(30万円÷2%)

省エネの進め方と現場で役立つ着眼点(経済産業省関東経済産業局)より作成

【用語の補足】

(※1)一次エネルギー

- ・石油、天然ガス、石炭などエネルギーのもともとの形態

(※2)包蔵水力

- ・資源エネルギー庁が公表している技術的・経済的に利用可能な水力エネルギー量

(※3)バイオコークス

- ・バイオコークスは、木くずや牛ふん堆肥などの有機物を活用して製造することができる固形燃料であり、さらに二酸化炭素の排出量が実質ゼロという性質を持つ
- ・このため、例えば、本県の森林や畜産由来の堆肥を活用できる可能性があり、普及・拡大で、本県のみならず日本全体の脱炭素化、さらにはエネルギーの供給の強靱化への貢献が期待できる

(※4)クーリング・ウォーミングシェア

- ・1人1台のエアコンの使用などを止め、涼しい場所や暖かい場所を共有して過ごす取組

(※5)BEMS

- ・「Building Energy Management System(ビル・エネルギー管理システム)」の略
- ・ITを利用して業務用ビルの照明や空調などを制御し、最適なエネルギー管理を行うこと

(※6)FEMS

- ・「Factory Energy Management System(ファクトリー・エネルギー管理システム)」の略
- ・工場全体のエネルギー使用量の削減やエネルギー関連設備の制御を目的として導入される

詳しい内容は、以下のホームページでご確認ください。

◆岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/3646.html>



◆「ぎふエコアクション」

(省エネ行動によるCO₂排出削減量の見える化サイト)

<https://gifu-ecoaction.pref.gifu.lg.jp/>

(※)ご利用にあたっては、ユーザー登録が必要になります。



◆岐阜県脱炭素総合ポータルサイト

<https://gifu-datsutanso.jp/>



岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画（令和3年度～令和12年度）

発行年月：令和3年3月 改訂年月：令和5年3月、令和8年3月

発行者：岐阜県環境エネルギー生活部省エネ・再エネ社会推進課

〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1

TEL 058-272-1111（代表） 内線 2952 FAX 058-272-8407